へ13
2378
221

へ13
2378
221

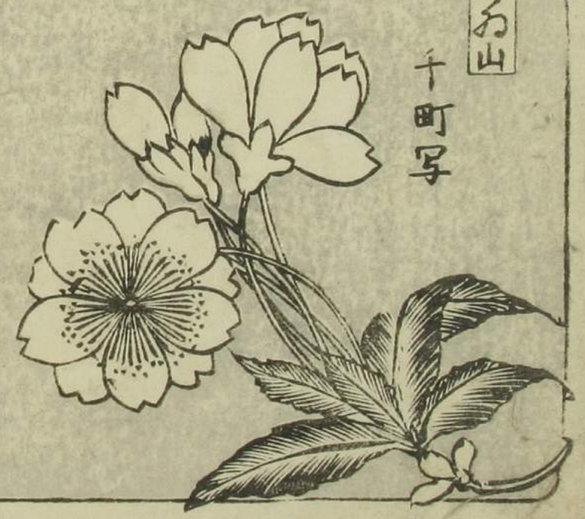
東國奇譚 月夜梅上

五柳亭 德升作
一勇齋 國芳画

天保七年
申春發市
芝神明前三嵩町
佐野屋喜兵衛板

上総のくろ山

千町写



年々歳々合巻の大意見せ皆天地間の一座大戯場善の役割
徳の脚色をもふ天地神明の看官善悪不二の邪正をうちち
福とむらひのことたとへば機関と用るとつくども到底い
徒然とする豈益あらざらんや彼好事先生の作る所
勧世の詩

當場扮作丑生姿　悪貌美心相見知
天地従来如雑劇　世營一齣介無私

故人向嶋市川白猿ゑまぐ戯場ふあり上と花道のつゝ称
二ヶ月ゑいつゝのぐまんとてこゝ記ざの生れそんの早ゝ
天保六丙申年初春發行　五柳亭主人述

荒川の泉太郎
好夫
猪熊吉

鬼坊主
西心
嬶
婦
お熊

稲葉幸藏
茂作娘おとね

松田の後室
山賊の首領
とうの於角

寐小便の大奇藥　一包代銭三百銅

此御茶いうほど年久敷病症よそも大人小児男女ともざ一下包そ溜るゆ奇とやいえん物とやいえんえまで
佳人ゑどに男るふ一人も治せばといふその子一寝し佳人
のもとめふ海を世よむろめ海門の男女孫小役すてる
しむものとをて世中れ慶業とはちがひおーもいろいろ
なく志の姓名方れ紙の紀をはせば男ひてそ病苦をたとそ
のよべー

本家調合所　書物屋　北林堂　西宮弥兵衛
江戸中橋廣小路町

中

上冊小

月世界夜桜中

常州法くた源

千町写

徳升作

国芳画

申ノ春

芝神明前

喜鶴堂上梓

猫

苦宗画
猫

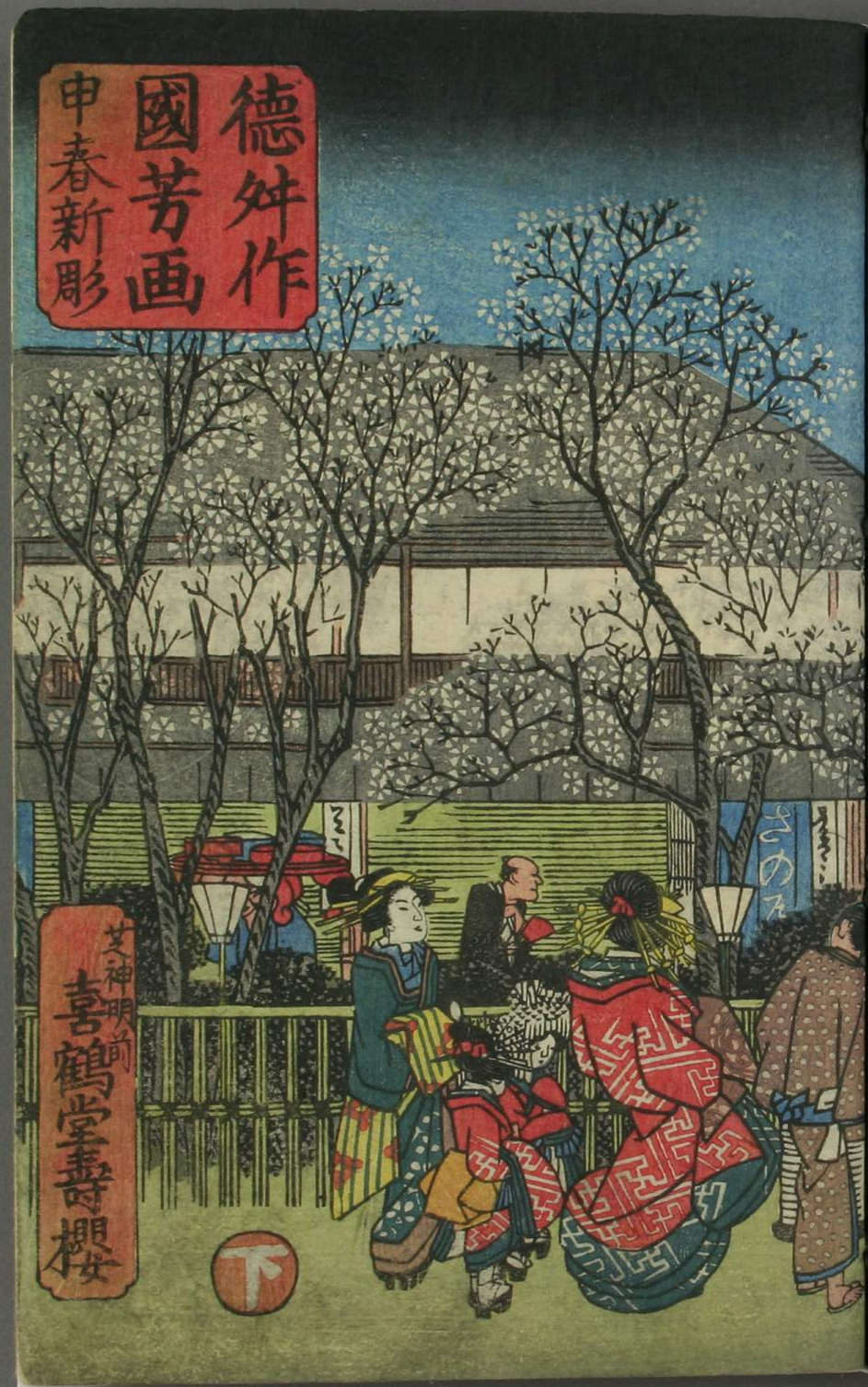
猫

清浄
精製 白妙

きもんなる形なり
一包 代三十二銅

此ところ〳〵いろはど色の黒き方ゆへも男女ふかぎ
らず色まひ又いろ不入ときさうそれをつゆ変ぞふぬ
ふくろの中へ水一ぱい入れ丹れバそをバ雪のごとくふ
光沢をバ白玉のごとくすきめをバてまらふし年寄のても
なほ壮年の色となるを付ばてきもふ月立ち彩妙
不測の効方あれバ丹ひてを功能を知給へ

本家調合所 書物屋 北林堂 西宮弥兵衛
江戸中橋廣小路町


德舛作
國芳画
申春新彫
艾神明前
喜鶴堂壽櫻
下

陸奥のさらら

武蔵さゝ川

德升作

國芳画

丙申孟春發行

佐野喜新刊

千町写

天保七丙申年孟春發版目録

傾城三國志第五編 全八冊 墨川亭雪麿作 香蝶樓國貞画

西國奇談 月の夜神樂 三編 全六冊 五柳亭徳升作 溪斎英泉画

東國奇談 月の夜櫻 初編 全六冊 墨川亭雪麿作 歌川國芳画

花咲櫻五郎 也字結戀之弥矢 全六冊 墨川亭雪麿作 溪斎英泉画

二人助六 式亭小三馬作 二人揚巻 江戸紫手染色揚 全八冊 五柳亭徳升画

今昔倭説苑 全四冊 墨川亭雪麿作 一勇斎國芳画

梅松論竹取物語 全四冊 墨川亭雪麿作 五雲亭貞秀画

美濃屋三勝 近江屋半七 寐物語夢白鞘 全冊 五柳亭徳升作 一勇斎國芳画

大奉書四切 極彩色摺 五十三次景色入共繪 香蝶樓國貞画

地本繪草紙問屋 芝神明前三嶋町角 佐野屋喜兵衛板

扇團 香蝶樓國貞画 美艶仙女香 黒油美玄香 坂本氏製 佐野屋喜鶴堂